

# ATOM LIVINTECH IR NEWS

第69期 | 中間報告書

令和4年7月1日 ▶ 令和4年12月31日

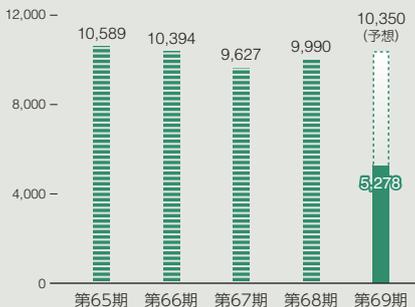
## 財務ハイライト

### 第69期中間期の POINT

第69期中間期の業績につきましては、売上高は52億78百万円(前年同期比4.2%増)、経常利益は2億68百万円(前年同期比30.0%減)、四半期純利益は2億38百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

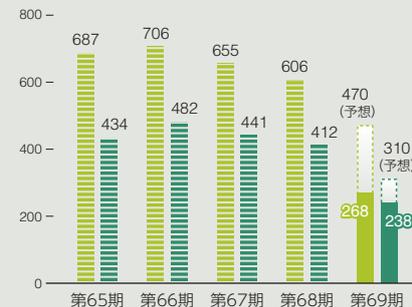
売上高 (百万円)

■ 通期 ■ 中間期



経常利益/当期(四半期)純利益 (百万円)

■ 通期 経常利益 ■ 中間期 経常利益  
■ 通期 当期純利益 ■ 中間期 四半期純利益



総資産/純資産 (百万円)

■ 総資産 ■ 純資産



## TOPICS

### 「2022全国建具フェア浅草・TOKYO 第54回全国建具展示会」に出展しました

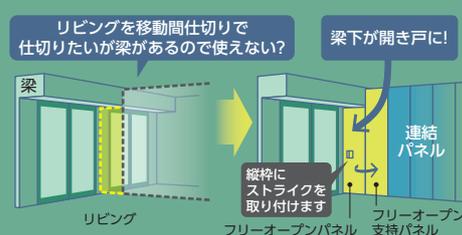
11月11日(金)・12日(土)に、都立産業貿易センター台東館にて開催された「2022全国建具フェア浅草・TOKYO第54回全国建具展示会」に出展しました。「SWシステム 移動間仕切り金具」を使用した、「回転収納プラン・フリーオープン梁下納まり」や、「マルチソフトクローズユニット」を使用した「ダブルオープン納まり」などを展示。実物大やミニチュアの展示仕器を設置して、実際の利用法や操作法をご紹介しました。今後もこのような活動を積極的にを行い、社会の発展に貢献してまいります。



SW-900 回転収納プラン・フリーオープン梁下納まり

### SW-900 | 回転収納プラン・フリーオープン梁下納まり

梁下のデッドスペースを活かし、リビングを仕切って部屋を分けることができる移動間仕切り、SWシステムを使用。ふだんは家族でリビングを広く使い、テレワーク時にはパネルで仕切ってワークスペースに変更。また、間仕切りした部屋は子どもの成長に応じて、子ども部屋や寝室に使うなど利用法もさまざま。そして、必要がなくなればパネルを収納し、もとの広いリビングに戻すなど、生活様式の変化に合わせて間取りを自由に変えることができます。



## 戦略別の取り組みを機動的かつ柔軟に展開しつつ、 経営環境の変化に即応できる「住空間創造企業」の 構築に向けた取り組みを推進いたしました。

### 第69期中間期の取り組みと業績について

市場ニーズに対応した  
新たな商品展開を推進しながら、  
お客様との情報交換の場を設けることに  
注力いたしました。

### 第69期中間期の経営環境について

第69期中間期の住宅関連市場は、低水準にある住宅ローン金利や省エネ住宅への補助金制度など、政府による各種住宅取得支援政策に加え、コロナ禍における住まいや生活への意識変化を背景としたニーズの増加によって、一定の市場の活性化が見られました。一方、国内感染再拡大や世界的な資源価格の高騰を要因とした建設資材・物流コストの継続的な高止まりなどが影響し、新設住宅着工戸数は持家を中心に伸び悩みが続きました。また建設業界における慢性的な人手不足に加え、アルミ地金や鋼材など、各種原材料価格が高騰し、足元の工事は中止や延期に追い込まれるなど、住宅業界を取り巻く環境は依然として厳しく、本格的な市場の回復には未だ至らない水準で推移いたしました。

### 第69期中間期の戦略別取り組みと業績について

商品戦略につきましては、日々高じるお客様のご要望に即応するために、より現場主義に徹した柔軟で機動力のある商品開発に取り組み、当社独自の機能を内包したソフトクローズ関連商品のさらなる拡充と市場への定着に注力してまいりました。なお、リモートワーク空間の構築に最適な移動間仕切

金具「SW-900」においては、マンションなどで多く見られる梁構造であっても、デッドスペースとなっていた梁下にフリーオープンパネルを設置して部屋を仕切った際の出入り口にすることで当システムの使用を可能にするなど、使用範囲を拡充するとともに市場ニーズに対応した新たな商品展開を推進しております。

市場戦略につきましては、昨年11月に「2022全国建具フェア浅草・TOKYO第54回全国建具展示会」へ出展、続けて「アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所」のリニューアルオープンに伴って多数の展示商品を刷新するなど、新たな提案商品の紹介とともにお客様との情報交換の場を設けることに注力してまいりました。また、西日本市場の強化と深刻化する運送コストや、自然災害によるリスクの分散など、BCP対策を踏まえた物流拠点の複数化を目的に運用を開始している「広島営業所・C/Dセンター」におきましては、管理運用商品を徐々に増やしつつ、商品供給面における顧客満足・サービスの維持向上に努めました。

情報システム戦略につきましては、顧客の利便性向上と社内業務省力化のために、当社の経営管理体制を支える「統合型業務ソフトウェア」の継続的なバージョンアップを実施して、業務効率と経営効率の一層の向上を図っております。また、当社の「ものづくり」を広く紹介する目的として、ホームページ内の「atom動画ギャラリー」では、YouTubeで機能商品を中心とした製品紹介や設計・施工ガイドなどを配信しました。他にも、アトムCSタワーの展示商品の写真や動画を閲覧できる「ショールームビュー」の充実を図るなど、コロナ禍を見据えた対策として、SNSを積極的に活用した販売支援ツールの拡充に努めました。

こうした取り組みを推進した結果、第69期中間期の業績は、売上高52億78百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益2億48百万円(前年同期比33.4%減)、経常利益2億68百万円(前年同期比30.0%減)、四半期純利益2億38百万円(前年同期比1.4%減)となり、売上高で前年同期を上回る実績を確保することができた要因としては、経営環境の変化に立ち向かう組織づくりが進んだことに加え、全社員が自主性・主体性を持った機動的な行動で戦略別の取り組みを積極的に展開したことが奏功したものと考えております。

### 中長期的観点からの取り組みについて

潜在的なニーズの掘り起こしによる  
新たな需要の創出によって、  
収益の向上に取り組みます。

### 第11次中期経営計画について

今期、第69期に中間年度を迎えた第11次中期経営計画(第68期～第70期)では「伝統を活かし、変革に挑む」をスローガンに掲げ、119年の歴史で培ってきたファースト精神(他社に先駆ける進取の精神)を礎に、当社独自の特長的なスタイルに磨きをかけてまいりました。その結果、経営環境の変化に対応できる組織づくりが進み、一定水準の実績を確保することができましたが、継続する各種原材料価格の高騰等が影響し、当面は売上総利益を下押しする圧力が続く見通しにあることから、引き続き仕入価格の上昇分を適正に販売価格へ転嫁する基本的な活動を実行しつつ、新たな需要の創出によって収益を生み出していくことが課題であると捉えております。そのためには、サプライヤーの多様化や商圏の拡大にまで視野を広げるとともに、市場ニーズを先取りした「ものづくり」の推進を今まで以上に積極的に取り組み、付加価値のある新たな商品を作り出し、「非住宅分野」への事業展開を含めて市場に浸透させていくことが必要であると考えております。併せて、持続可能な社会の実現に向けた環境保全活動に対する意識を強く持ち、企業責任としてのSDGsへの貢献、低炭素社会に向けたSBTイニシアチブの認証取得、働き方改革の一環として業務フロー見直しによる効率化(DX化)、風通しの良い職場環境づくり、ダイバーシティの推進などの社会性の向上も対処すべき課題として捉え、これらさまざまな課題の解決に取り組んでまいります。

### 株主の皆様へのメッセージ

株主の皆様とのコミュニケーションを深めると  
ともに、株主利益の向上に努めてまいります。

### 株主の皆様とのコミュニケーションについて

当社は、ホームページの「株主・投資家情報サイト」でタイムリーな情報開示を行い、投資家向け専門雑誌への掲載などを進めてまいりました。今後も引き続き、多様なメディアを通じてのIR活動を展開し、株主の皆様との密接なコミュニケーションを深める取り組みを進めてまいります。

### 配当政策について

当社では、株主利益の向上を図る観点から、安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題として位

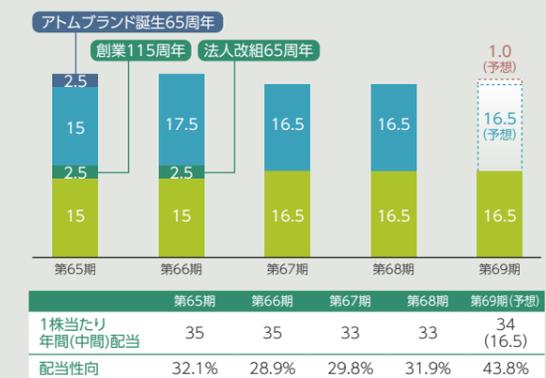
置づけ、積極的な配当の実現を基本方針に掲げてまいりました。このような基本方針のもと、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的に、令和元年(第65期末時点)より株主優待制度を実施してまいりましたが、令和5年1月30日開催の取締役会において、改めて株主の皆様に対する公平な利益還元のあり方について慎重に協議いたしました結果、業績に応じた配当による直接的な利益還元に集約することがより適切であるとの判断に至り、令和4年12月31日(中間配当)ならびに令和5年6月30日(期末配当)を基準日とする普通配当につきましては、令和4年8月5日の前回予想から1円50銭増額した16円50銭とし、併せて、令和5年6月30日を基準日とする当社株主名簿に記載されたすべての株主様に1株当たり1円の特別配当を実施させていただくことで、令和5年6月期における1株当たり年間配当予想を34円に修正するとともに、株主優待制度を廃止することいたしました。また、当社は来期の上期に創業120周年、来期の下期にアトムブランド誕生70周年、その半期後には法人改組70周年を迎えようとしております。これまで当社では、中期経営計画における配当政策の基本方針に基づいて、5年を節目に記念配当を実施してまいりましたが、日頃よりの株主の皆様のご支援にお応えするため、継続して記念配当の実施を検討したいと考えております。株主の皆様におかれましては、引き続き、当社の経営方針ならびに経営施策に対するご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 高橋 快一郎

## 株主還元

### 1株当たり配当状況 (円)

■1株当たり期末記念配当 ■1株当たり中間記念配当 ■1株当たり期末特別配当  
■1株当たり期末配当 ■1株当たり中間配当



シリーズ企画

# アトム CSタワー 最前線



SPECIAL ISSUE

ギャラリーショップ

# KANAGU

～職人技のある暮らしを、スローショッピングで。～

使ってみるとなんだかうれしい、こちいい。  
大切な誰かに贈りたくなる、ちょっといいモノ。  
デザイン、素材感、仕上げの隅々まで職人のこだわりが詰まった逸品をセレクトしました。  
毎日の暮らしに新しい風を運んでくれるような職人がつむぐ「モノ語り」を読みながらあなたのお気に入り、ゆっくり、じっくり見つけてください。



KANAGUとは

職人と職人の出会いから生まれたKANAGU。富山高岡の金属装飾に携わる職人たちとの出会いをきっかけとし、手仕事のぬくもりが伝わる作品をもっと紹介したいと思い、KANAGUは生まれました。美意識と技を持つ職人たちから受け取った熱き想いを「モノ語り」としてお伝えしていきます。

詳しくはこちらを  
ご覧ください



<https://www.atomlt.com/cstower/category/shop>

正統派大人文具シリーズ

## 経年変化を楽しむ真鍮文房具 BRASS PRODUCTS

どこか懐かしく、愛着を持って使い続けたい真鍮の佇まい。永く使うほどに、経年変化により素材の質感が変わり、かけがえのない道具になります。

真鍮は、銅と亜鉛の合金で独特の美しい光沢を持ち、古くから建築・家具金物、美術工芸品などの素材に使われてきました。使い続けるうちに表面が酸化することで、味わい深い柔らかな色調に変化し、独特の雰囲気を出します。また、永く大切に使えるように、素材の特性を活かしたシンプルな形と使い心地にこだわりました。

長い間使い込まれた道具が持つ美しい佇まい。例えば、10年後のそんな姿を想像しながらお手に取ってみてください。

プラス  
ペンケース  
無垢

¥4,180(税込)

素 材 | 真鍮  
サ イ ズ | パッケージ/H60×W187×D25mm  
本体/H50×W170×D18mm

MADE IN JAPAN



プラス  
ローラーボールペン  
真鍮無垢

¥5,500(税込)

サ イ ズ | パッケージ/H38×W112×D19mm  
本体/直径11×H102mm  
ボールペン | インク/黒 カートリッジ/万年筆用カートリッジ黒(38072006)

MADE IN JAPAN



商品詳細はこちら ▶



## 株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月に開催
配当金受領株主 確定日	毎年6月30日 中間配当金を支払うときは毎年12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告(当社のホームページに掲載いたします)。 <a href="https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/">https://www.atomlt.com/ir/financial/koukoku/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

住まいの飾り職人



アトムリビングテック株式会社

〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4  
TEL 03(3876)0600(大代表)  
ホームページ <https://www.atomlt.com/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

